

St. Luke's International University Repository

聖路加看護大学年報: 2008年度 (平成20年度)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-01-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10285/4728

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



Ⅱ 学生の受け入れ

【学 部】

1. 学生募集の現状

学生募集のための広報活動は広報委員会と事務局が行っている。大学案内パンフレット作成、大学説明会の開催および模擬授業の実施、学生ボランティアおよび自治会主催の白楊祭での大学説明コーナーの開設、毎週火曜日・金曜日午前・午後実施の大学見学、高等学校や予備校での大学説明会への教職員の参加、ホームページ等を通し、本学の目的や校風を多くの受験生に知ってもらう努力をし、徐々に宣伝活動、募集活動を広げている。

2. 入学者選抜方法の現状（表1参照）

入学者選抜方法については、入試委員会が原案を作り、教授会の決定により進められている。

本年度は2009年度学部1年生の入学者選抜と、2年生への編入学選抜および科目等履修生の選抜を実施した。

1年生の入学者選抜は、一般入試と公募推薦入試（帰国子女を含む）を行っている。推薦入試に関して2009年度は公募推薦（帰国子女を含む）15名の募集を行った。高校の平均評定値4.3以上で、本学専願であることを条件とし、調査書、小論文（120分）、面接による選抜を行った。

帰国子女については、昨年度同様、学歴記入書、保護者の外国勤務を証明する外国居住証明書、出身高等学校3年間の成績証明書、学校の公式案内書をさらに提出することを課している。20名の志願者のうち、13名が合格した。帰国子女の応募はなかった。

一般入試は、学科試験、小論文、面接、調査書により選抜を行った。志願者は450名で昨年とほぼ同じであった。出願者を増やすため、出願期間を長くすることが検討されたが、日程の公表後であったため、2010年度入試より12月中旬から出願受付を開始し、出願期間を長くすることが決まった。男子学生の志願者数は16名と、昨年より若干減少しており、入学者は1名であった。2次試験合格者を114名、補欠者を30名発表した。合格者のうち入学手続きをしなかった者が15名と昨年度とほぼ同数であったが、最終的には52名の辞退者となり、入学者を70名とする予定が、5名増の75名の入学者となった。昨年度の結果を踏まえての合格者数としたが、歩留まり率がよく、予想外の入学者であった。

また、2007年度一般入学試験から、当該年度の受験生本人からの請求に限り、試験結果をランク・グループ別区分表により、どのグループであったかを開示することになり、募集要項、ホームページに掲載した。2008年度5月に開示の申し込みのあった件数は、45件（入学者31名、不合格者10名、入学辞退者4名）であった。

2年生への学士編入学選抜は、大学卒業生（見込みの者を含む）を対象にし、学科試験（生物、英語）、小論文、面接により選抜を行った。今回は62名の応募があり、22名が合格したが、6名辞退（うち2名手続きせず）があり、5名の補欠者が入学した。志願者は昨年より大幅に増加してい

るが、同時に辞退者数も多くなっている。

科目等履修生の選抜は、2008年度より夜間開講を廃止し、昼間の学部学生の授業の中で履修することとしている。時間割等の詳細の決定が遅かったため、募集要項のホームページ掲載が2月となった。応募資格は、大学入学資格を有する者とし、従来の看護職のみから受け入れの枠を広げている。ただし、科目の内容により専門職のみを受け入れる科目も募集を行った。従来通り書類審査により選抜を実施した。志願者は8名であったが、1名辞退があり7名が履修することになった。

表1 学 部

《 》…男子内数

	学部一般	公募推薦 (帰国子女を含む)	学士編入学	科目等履修生
募集要項配布期間	2008年8月～ 2009年1月	2008年7月～11月	2008年8月～9月	2009年2月～ 2009年3月
願書受付期間	2009年1月5日～ 1月16日	2008年11月1日～ 11月7日	2008年9月5日 ～9月12日	2009年2月23日～ 3月4日
募 集 人 員	60 (推薦15名程 度を含む)	15程度	20	各科目若干名
志願者数(倍率)	450 (7.5倍)	20 (1.3倍)	62 (3.1倍)	8
合 格 者 数	1次試験 183 《3》 2次試験 114 《1》	13	22 《3》	8
補 欠 者 数	30		5 《0》	
入 学 者 数	62 《1》	13	21 《2》	7

3. 収容定員に対する在籍者数

2008年4月現在の学部学生数は、表2のようである。

表2 収容定員に対する在籍者数

(2008年4月現在)

学 年	収容定員	現員数 (114.0%)	休学者数	留年者数
1 年	60	72	0	2
2 年	80	89	1	1
3 年	80	93	1	1
4 年	80	88	0	0
計	300	342	2	4

【大 学 院】

1. 大学院生募集の現状

看護系の雑誌へ広告を掲載、「社会人に開かれた大学展」への資料参加を行った。2005年度よりウィメンズヘルス・助産学専攻を増設し、看護系大学に資料を配付、ホームページに掲載するなど広く宣伝を行った。ウィメンズヘルス・助産学専攻では、助産学担当教員が独自に「ウィメンズヘルス・助産学 大学院受験生と語る夕べ」を開催し、広報を行ったが、他の専攻においても学部同様に大学院説明会開催の要望が受験生よりあり、今後開催を検討していく必要がある。修士課程においては、Ⅰ期、Ⅱ期の2回に分け募集を行った。

修士課程看護学専攻ではカリキュラム改訂により、看護師資格を持たない者の受け入れおよび専門の細分化により新たな専門分野が加わった。修士論文コース[看護心理学、看護社会学、看護情報学、看護統計学、基礎看護学、看護技術学、看護教育学、小児看護学、急性期看護学、慢性期看護学、がん看護・緩和ケア、老年看護学、精神看護学、国際看護学、地域看護学、在宅看護学、看護管理学の17専門分野]と、上級実践コース[小児看護学、急性期看護学、がん看護学・緩和ケア、老年看護学、精神看護学、国際看護学、地域看護学、在宅看護学、看護管理学の9専門分野]で募集を行った。小児看護学の上級実践コースでは、従来の専門看護師を目指すコースに加え、高度な知識と技術を有し、診断や治療を施すことのできる上級実践看護師（プライマリケア実践）を目指す新たなコースを設け、募集を行った。ウィメンズヘルス・助産学専攻では、修士論文コース、上級実践コースともにウィメンズヘルス、助産学の2専門分野で募集を行った。

博士後期課程においても、修士課程と同様に看護師資格を持たない者の受け入れと、専門の細分化により、看護心理学、看護社会学、看護情報学、看護統計学、基礎看護学、看護技術学、看護教育学、看護管理学、助産学、小児看護学、成人看護学（急性・慢性）、老年看護学、ウィメンズヘルス、がん看護学・緩和ケア、精神看護学、在宅看護学、地域看護学、国際看護学の18専門分野で募集を行った。

修士課程、博士後期課程ともに出願書類をホームページからダウンロードできるようにしている。なお、2008年度より修士課程への学内推薦制度を実施し、2009年度は6名の応募があった。

2. 入学者選抜方法の現状（表3参照）

修士課程については、Ⅰ期・Ⅱ期2回の選抜を行い、各専攻を15名の定員とした。一般、社会人共に専攻する専門科目の筆記試験、英語（辞書持ち込み可）、小論文、面接から審査し、選抜した。専攻分野を第2希望まで出願し、受験することができるが、第2希望の科目を受験したものはⅠ期試験において2名であった。志願者数、合格者数は表3の通りである。合格者の中でウィメンズヘルス・助産学専攻の3名から辞退の申し出があった（うち1名は看護師国家試験不合格による）。

今回第2回目となった学内公募推薦試験では、ウィメンズヘルス・助産学専攻に6名の応募があり、書類審査、面接により審査した結果、5名が合格となった。

また、ウィリアムズ司教記念教育基金による研修生1名から、修士課程への入学希望があり、外国人特別選抜試験を免除し、2009年4月15日より、修士課程ウィメンズヘルス・助産学専攻に外国人留学生として受け入れることになった。

博士後期課程については、看護学、英語（辞書持ち込み可）、論文、面接を実施し、選抜を行った。志願者25名、合格者は13名で、うち5名が社会人入学であった。また、今年初めて看護師資格を持たない者の志願があり、看護社会学の領域に入学することになった。募集人員を満たしていたため、2次募集は行わなかったが、1名より辞退の申し出があった。本学修士課程からストレートで進学した者は3名であった。また、本学の博士号取得支援を受けて入学する教員はいなかった。

インドネシア政府からの研究生として、1月より2名を受け入れることになり、両名とも博士後期課程の入学を希望しており、政府等公的機関により委託されたものであることから、外国人特別選抜試験を免除し、2009年4月15日より博士後期課程の外国人留学生として受け入れることが決定した。

研究生に関しては、紹介教授の指導を受け、書類審査で選抜した。

表3 大学院

	大学院修士課程		大学院博士後期課程	研究生
	I期試験	II期試験		
募集要項配付期間	2008年7月 ～2009年2月	2008年7月～ 2009年2月	2008年7月～10月	2009年1月
願書受付期間	2008年8月29日～ 9月4日	2009年2月6日 ～2月12日	2008年9月29日～ 10月3日	2009年1月10日～ 2月9日
募集人員	㊦：12 ㊧：12	㊦：3名 ㊧：3名	10	—
志願者数（倍率）	㊦： 22 (1.8倍) 社会人 7 ㊧： 25 (2.1倍) 社会人 0	㊦： 11 (3.7倍) 社会人 2 ㊧： 2 (0.7倍) 社会人 0	25 (2.5倍) 社会人 10	7 (継続4名を含む)
合格者数	㊦： 15 社会人 5 ㊧： 13 社会人 0	㊦： 10 社会人 2 ㊧： 2 社会人 0	13 社会人 5	
補欠者数	㊧： 0	0	—	—
入学者数	㊦： 15 社会人 5 ㊧： 11 社会人 0	㊦： 10 社会人 2 ㊧： 1+1* 社会人 0	12 (うち社会人 5) +2*	5 (継続4名を含む)

㊦：看護学専攻 ㊧：ウィメンズヘルス・助産学専攻

*特別外国人留学生

3. 収容定員に対する在籍者数

2008年4月現在の大学院学生数は表4、表5のとおりである。また、2008年度入学生の状況は表6～8、研究生は表9のようであった。

表4 修士課程

学 年	収容定員	現 員 数
1 年	㊦ : 15	26
	㊧ : 15	16
2 年	㊦ : 15	20
	㊧ : 15	17
3 年		6
計(名)	60	85 (141.7%)

表5 博士後期課程

学 年	収容定員	現 員 数
1 年	10	13
2 年	10	11
3 年	4	26 (うち留年者16)
計(名)	24	50 (208.3%)

表6 大学院入学状況

左欄：一般 右欄：社会人

		入 学 志 願 者 数									
		当該大学出身者		他大学出身者		外国の学校卒		その他		計	
修士 課程	看護学	5	2	14	9	1	1	0	1	20	13
	ウィメンズ	1	0	23	0	1	0	0	0	25	0
博士後期課程		6	3	2	2	1	0	0	0	9	5

		入 学 者 数									
		当該大学出身者		他大学出身者		外国の学校卒		その他		計	
修士 課程	看護学	5	2	11	5	1	1	0	1	17	9
	ウィメンズ	1	0	14	0	1	0	0	0	16	0
博士後期課程		5	3	2	2	1	0	0	0	8	5

表7 修士課程大学(学部)卒業年別入学状況

大学卒業年度		2008年3月 大学卒		2007年3月 大学卒		2006年3月 以前大学卒		その他* (外国卒等)		計		左記のうち 有職者数(再掲)	
志願 者数	看護学	3	1	1	1	15	9	1	2	20	13	16	13
	ウィメンズ	19	0	0	0	5	0	1	0	25	0	13	0
入学 者数	看護学	2	0	1	1	13	6	1	2	17	9	0	9
	ウィメンズ	12	0	0	0	3	0	1	0	16	0	0	0

*その他に大学評価・学位授与機構を含む

表8 修士課程看護教育機関別入学状況

看護教育機関		大 学		短期大学		専門学校		計(名)	
志願 者数	看護学	17	4	0	2	4	6	21	12
	ウィメンズ	21	0	0	0	3	1	26	1
入学 者数	看護学	15	4	1	1	2	4	17	9
	ウィメンズ	15	0	0	0	1	0	16	0

表9 研究生等の学生数

研 究 生		計
学部卒以上	左記以外	
0	5+2*	5+2*

※5名全員修士課程修了者 *インドネシアからの外国人研究生